




分類番号				
保存期限	1	3	5	10
				永

様式第5号 (第5条関係)

議長	事務局長	係長	書記
 光 男	 様		 平成 渡部

29年 4月 10日

矢巾町議会議長 廣 田

会派名 矢巾町政策研究会

「やまゆり会」

代表者名 藤原 由巳



平成28年度政務活動費収支報告書

矢巾町議会政務活動費の交付に関する条例第9条第1項(第2項)の規定により、次のとおり平成28年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収 入

政務活動費 648,000 円

2 支 出

項 目	金 額 (円)	主たる支出の内容
調査研究費	468,520	交通費、宿泊費
研 修 費		
会 議 費		
資料作成費		
資料購入費		
広 報 費		
事 務 費		
合 計	468,520	

3 残 額

179,480 円

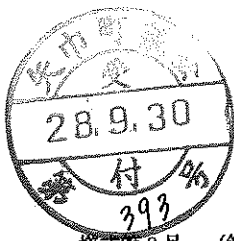
備考 政務活動費支出明細書、調査研究等実施報告書、領収書等の写しを添付すること。

様式第7号 (第6条関係)

政務活動費支出明細書 (会派名 = 矢巾町政策研究会「やまゆり会」)

(調査研究費 ・ 1枚のうち 1枚)

No.	支出年月日	件名	内容	金額 (円)	備考
1	H28. 8. 2 ~8. 4	調査研究費	<p>[行先] 千葉県栄町 環境省 静岡県三島市、浜松市</p> <p>[視察目的]</p> <p>① 子育てしやすい町、 の定住・移住の促進</p> <p>② 環境管理・鳥獣駆 除・水素ステーショ ンの環境について</p> <p>③ ゆとりある田園住居 区整備促進事業</p> <p>④ 市街化調整区域にお ける工業のバランス ある土地利用につい て</p>	223,990	整理番号 1-1~1-6
2	H29. 2. 1 ~2. 3	調査研究費	<p>[行先] 香川県 三木町 小豆島町</p> <p>[視察目的]</p> <p>① 香川大学と連携した まちづくりについて</p> <p>② 小豆島高校野球部甲 子園出場に係る行政 の支援状況、島の産 業への取り組みにつ いて</p>	244,530	整理番号 1-1~1-3
	合計		調査研究費支出計	468,520	



様式第8号 (第6条関係)

分類番号				
保存期限	1・3・5・10・永			
議長	事務局長	係長	書記	
調査研修報告書				

平成28年 9月20日

矢巾町議会

議長 廣田光男 殿

矢巾町政策研究会「やまゆり会」

代表 藤原由巳

報告者 同上



実施年月日	平成28年8月2日～平成28年8月4日 (日程詳細は別紙日程表)
参加者 (8人)	やまゆり会：高橋七郎、藤原義一、藤原由巳 矢巾明進会：長谷川和男 町民の会：高橋安子、水本淳一、廣田清実
目的	矢巾町においては、岩手医科大学附属病院の移転開院を控え交流人口の増加と併せ、第7次総合計画における人口目標3万人に向け、新たな町づくり構想に取り組んでおります。議会においても、4月に「新たな町づくり特別委員会」を構築し種々の取り組みを開始していますが、その参考とすべき上記3会派合同にて以下の4団体を視察しました。尚、今回は「やまゆり会」として「環境省」での調査研修の報告を致します。
行先	1、千葉県栄町 2、環境省総務課 3、静岡県三島市、 4、千葉県浜松市
対応者	やまゆり会 高橋七郎
概要及所見	今会、環境省においては、国会議員会館にて平成29年に向けて環境省としての重点骨子(案)の説明を受けた。「環境共生型社会の構築」に向けた地球温暖化対策、将来の暮らしを支える資源環境の実現と安心・安全の確保政策の指導を受けた。特に、ゴミ処理問題等においては、処理場の延命化対策と燃焼ゴミの増加に伴う施設の広域化対策等についての指導を受けた。また、将来に向けて公害の出ないの水素燃料の活用対策としての先行投資等との中で、まだ設置の無い岩手県においては、医大付属病院が移転する事で環境問題でも注目される矢巾町でも検討して見てはとの意見も出された。詳細は別紙によるが、本町が今後の町づくりに向けて取り組んでいる中、当議会でも「新たな町づくり特別委員会」を中心の今回の調査研修の内容を再考・協議しつつ、多方面で取り入れて行くべきと感じられた。 尚、調査内容の詳細は別紙での報告と致します。
経費	3名合計 223,990円 (内訳は別紙の通り)

「やまゆり会」会派視察研修報告資料

平成 28 年 10 月 7 日報告

報告者 高橋七郎

様式第 8 号 (第 6 条関係)

調査研修報告書

平成 28 年 9 月 20 日

矢巾町議会

議長 廣田光男 殿

矢巾町政策研究会「やまゆり会」

代表 藤原由巳

報告者 同上



実施年月日	平成 28 年 8 月 2 日～平成 28 年 8 月 4 日 (日程詳細は別紙日程表)
参加者 (3 人)	高橋七郎、藤原義一、藤原由巳 他に矢巾明進会 2 名、町民の会 3 名
目的	矢巾町においては、岩手医科大学附属病院の移転開院を控え交流人口の増加と併せ、第 7 次総合計画における人口目標 3 万人に向け、新たな町づくり構想に取り組んでおります。議会においても、4 月に「新たな町づくり特別委員会」を構築し種々の取り組みを開始していますが、その参考とすべき上記 3 会派合同にて以下の 4 団体を視察しました。尚、今回は「やまゆり会」として「環境省」での調査研修の報告を致します。
行先	1、千葉県栄町 2、環境省総務課 3、静岡県三島市、 4、千葉県浜松市
対応者	環境省関係分：高橋ひな子衆議院議員、大臣官房鮎川室長、勝亦事務官、ほか高橋衆議院議員東京事務所現地秘書 2 名
概要及所見	今会、環境省においては、国会議員会館にて平成 29 年に向けて環境省としての重点骨子(案)の説明を受けた。「環境共生型社会の構築」に向けた地球温暖化対策、将来の暮らしを支える資源環境の実現と安心・安全の確保政策の指導を受けた。特に、ゴミ処理問題等においては、処理場の延命化対策と燃焼ゴミの増加に伴う施設の広域化対策等についての指導を受けた。また、将来に向けて公害の出ないの水素燃料の活用対策としての先行投資等をとの中で、まだ設置の無い岩手県においては、医大付属病院が移転する事で環境問題でも注目される矢巾町でも検討して見てはどの意見も出された。詳細は別紙によるが、本町が今後の町づくりに向けて取り組んでいる中、当議会でも「新たな町づくり特別委員会」を中心の今回の調査研修の内容を再考・協議しつつ、多方面で取り入れて行くべきと感じられた。 尚、調査内容の詳細は別紙での報告と致します。
経費	3 名合計 223,990 円 (内訳は別紙の通り)

平成28年9月10日

視察研修報告書

1 調査研究課題

○栄町総合戦略における定住の促進施策について

2 調査年月日

平成28年8月2日（火曜日）

3 調査場所

1) 千葉県栄町

4 調査対象者

やまゆり会	藤原由巳	藤原義一	高橋七郎
町民の会	高橋安子	水本淳一	廣田清実
矢巾明進会	長谷川和男	村松信一	

5 概要及び所見

1) 自治体消滅度千葉県内 NO1 からの脱却に向けて

○昭和30年に合併当時は約1万人弱の人口が東京へのベットタウンとして成長し平成10年に2万6000人に増加した。その後は減少に転じている。2040年の人口推計では自治体の消滅度が千葉県内でNO1発表がされ、そこで、まち・ひと・しごと創生法の制定を受け「栄町版総合戦略」を策定し、年齢別の人口構成を改善されることを第1の目標として若者の転入促進・雇用の創出・まちの振るわい等をキーワードとして各種政策の展開をしている。

※婚活支援事業

町民で組織の婚活実行委員会に対し支援の実施
(4回婚活実施、40組のカップル誕生)

※赤ちゃん出産費用支援制度

(1人目4万円・2人目12万円・3人目20万円・以降28万円)

※定住移住奨励金制度

(町内に転居10万円中学生以下のこどもがいる一人につき10万円・転入者10万円
アパートへの転入は中学生以下8万円支給)

(Uタウン 単身世帯8万円・世帯転入16万円・世帯+子ども24万円支給)

※住宅リフォーム補助制度

(10万円)

※園児送迎サービス事業

小さい子どもを持つ働く女性、保育園までの送迎を行う。

(保育士人件費・事務職員人件費・事務所経費・ワゴン車経費・運転手人件費・等援助)

※結婚後の新生活支援事業

結婚後の住宅購入費やアパート等の家賃・引っ越し費用等として最大18万円を補助

※空き店舗での起業者支援

空き店舗の家賃の一部6万円（飲食店）3万円（一般起業）を12ヶ月支援する。

※移住PR物資作成事業

不動産・企業に対する移住セールス用としてボックスステッシュ・PRパンフレット準備

※どら黒豆（町の特産品）による地域経済の活性化事業に対する支援対策

黒まめを使用の生カステラ・焼酎・煮豆・パン等の開発支援

※コスプレ館、開館

世界的ブームのコスプレ館を房総のむらに会館（侍・新選組・町娘・等の衣装の貸出し

以上のほかにも多くの定住・移住促進政策があり、若者の転入促進・切れ目のない子育て支援・雇用の創出・町の振るわい等のため各種施策等、実施による定住・移住対策や観光客の誘致など真剣に考え実践している姿を実感した。

視察研修報告書

1 調査研究課題

- 東日本大震災からの復興・創生について
- 循環共生型社会の構築について

2 調査年月日

平成28年8月3日（水曜日）

3 調査場所

- 1) 環境省総務課政策調整室

4 調査対象者

やまゆり会	藤原由巳	藤原義一	高橋七郎
町民の会	高橋安子	水本淳一	廣田清実
矢巾明進会	長谷川和男	村松信一	

5 概要及び所見

1) 東日本大震災からの復興・創生について

○東日本大震災の発生から5年が経過し、復興は新たなステージに入り、福島県については、計画に基づく除染を平成28年度中に完了させ、平成29年度からは、被災地の復旧・復興・創生に向けて一層のステップアップを図っていくとしている。

具体的には、中間貯蔵施設の整備と除去土壌等の継続的な搬入を推進することと、除去土壌の汚染等の減容・再生利用に関する技術開発を進めること、又フォローアップ除染、森林放射線量低減対策のモデル事業等を行い放射性物資に汚染された廃棄物の処理を着実に進め放射線に係る住民の健康管理・健康不安対策も進め、帰還困難区域については関係機関で決定される平成29年以降の取り組み方針に沿って取り組んでいくこと。

三陸復興国立公園やみちのく潮風トレイルを活用したグリーン復興等を推進する。以上の説明を受けたが住民には放射線に汚染された廃棄物に対する健康不安が根強いと感じた。

2) 循環共生型社会の構築について

○次世代につなげる暮らし・社会の変革による地球温暖化対策について、平成29年度は27年末に採択されたパリ協定を踏まえた温暖化対策を実行に移す年となり、2030年度に2013年比26.0%削減（2005年度比25.4%削減）する目標の実現、に向けてあらゆる政策手段を動員し、部門別対策、横断的対策の着実な実施を図り、2050年80%削減やそれ以降の長期大幅削減に向け技術革新や社会・都市・地域の構造やライフスタイルの変革等長期的・戦略的取り組みの道筋をつけたいとしており地球温暖化に取り組む強い姿勢を感じた。一町民としての身近にできる温暖化対策はゴミの減量化であり、行政がもっと強化すべき点である。

○魅力ある我が国の自然の保全・活用といきものとの共生について

人といきものとの共生を目指し、生物多様性を確保するための取り組みを進める。

具体的には、生物多様性条約の愛知目標を達成し、共生と循環に基づくさまざまな社会経済活動の中に組み込んでいくほか、希少な生き物を保全する施策の充実に向けた検討、鳥獣養管理の推進や外来種の防除、動物の適正飼養の推進、自然資源の手入れである。

○将来の暮らしを支える資源環境の実現と安心・安全の確保について

将来にわたり地域社会・暮らしを支えるため、一般廃棄物処理施設の早急かつ適切な更新及び浄化槽整備を進めるとともに今後想定される大規模災害も念頭に、災害廃棄物の円滑な処理体制の確保及び処理施設の防火拠点化等の強靱化を進めるとあり、本件を襲った台風10号での大災害により後発生すると思われる災害廃棄物の処理等は想定外が身近な問題や課題となったことで、本町における今後の課題として喫緊に取り組むべきである。

3) 省エネを活用した水素社会推進事業について

○水素は利用時CO₂を排。出せず地球温暖化対策上重要なエネルギーであるが本格的な水素市場の拡大に不可欠な水素サプライチェーンの確立がなされていないため地域再エネルギー導入事業として低炭素な水素社会の実現と燃料電池自動車の普及・促進のため再エネ由来の水素ステーションを平成31年度までに100箇所程度導入するとしているが水素電池自動車は特殊車両での開発に注力し一般的にはEVカーの開発・普及に努めることのほうが先と考える、との意見が多かった。

視察研修報告書

1 調査研究課題

○ ゆとりある田園居住区整備促進事業について

2 調査年月日

平成28年8月4日（木曜日）

3 調査場所

1) 静岡県三島市

担当課 都市整備部 都市計画課

4 調査対象者

やまゆり会	藤原由巳	藤原義一	高橋七郎
町民の会	高橋安子	水本淳一	廣田清実
矢巾明進会	長谷川和男	村松信一	

5 概要及び所見

1) 平成25年2月15日「内陸のフロンティアを拓く取組」が国の特区指定を受け、三島市は5つの事業を行う事とした。

- ① 農業・観光関連施設集積事業
- ② 三ッ谷地区新たな産業拠点整備事業
- ③ 三島玉沢IC周辺医療・健康関連産業等集積事業
- ④ 高規格幹線道路を活かした安心・安全のまちづくり促進事業
- ⑤ ゆとりある田園居住区整備促進事業

以上の5つの事業以外に三島市政策課題のなかに「新しいライフスタイルの実現の場創出」を掲げており、これとゆとりある田園居住区整備促進事業を結びつけての事業である「優良田園住宅の建設の促進に関する法律」に基づいて優良田園住宅用地として整備を行うことで、低密度でゆとりある居住区環境を創出し、沿岸部からの転居を希望する住民の受皿整備を行い、農業、また当該各地区周辺で計画している企業誘致に係る職住近接や都市部への通勤にも対応可能な住宅整備を促進する等、ゆとりある新しいライフスタイルを実現する地域づくりを推進する事業であります。その効果として下記の点を掲げております

- ◇新しいライフスタイルの実現の場の創出を実現する。
- ◇内陸部への移転や受け入れを可能にする
- ◇家・庭一体の住まいづくりの普及促進につながる
- ◇職場・住居の近接を可能にする

以上のような開発における効果を掲げておりさらに、区域選定の課題解決として下記条件をすべて満たすこととしたうえで選定作業に着手した。

- ・一つのまとまりある街区（0.3ha以上）

- ・周辺にまとまりある自然や農地がある
- ・青地農地など含まない
- ・農地転用許可や開発等の許可の見込みがある
- ・鉄道・バス停からおおむね1^{km}以内

以上のおり国の「特区」指定を受け三島市の政策課題の一つである「新しいライフスタイルの実現の場」を目標実現に掲げさらに具体的実施計画として「ゆとりある田園居住区整備促進事業」に取り組んだことは本町の医大開業に伴う日々1万人ともいわれております交流人口の増加に対応した町の開発参考になるとともに、優良農地として市街化調整区域での土地規制により開発自由度がほとんどない本町の農業地域における地域限定土地見直しのモデルケースとして参考となった。

視察研修報告書

1 調査研究課題

- 「未来創造」新・ものづくり特区について
- 工場用地確保策について
- 新・産業集積エリアについて

2 調査年月日

平成28年8月4日（木曜日）

3 調査場所

1) 静岡県浜松市

産業部土地政策課

産業部産業総務課

4 調査対象者

やまゆり会	藤原由巳	藤原義一	高橋七郎
町民の会	高橋安子	水本淳一	廣田清実
矢巾明進会	長谷川和男	村松信一	

5 概要及び所見

浜松市は大都市圏に属さないが産業の発展に支えられ平成19年に政令指定都市となった。ヤマハ・スズキ・ホンダ・カワイ楽器・浜松フォトニクス等、幾つもの世界企業が生まれているが江戸時代から製造業の技術集積があり最先端の産業を生み出してきた歴史があり、常に時代の変化を先取りして新たな基幹産業を創出してきた。

大正元年鉄道院浜松工場の開業により全国からトップクラスの金属加工技術者が集結した。以後、自動織機産業、土木機械、国交機械、オートバイ、自動車など輸送機器の成長に支えられた。平成にはいり健康医療、航空宇宙、光産業、エレクトロニクス等が発展している。製材業から楽器産業が生まれ有名になった。

このように産業の好調には、浜松市は総合的な産業支援体制で産・学・官が協力して工場用地立地の支援の結果である。

現在は第3都田地区の工場用地として「特区の制度」を活用し「未来創造新物づくり特区」として工場用地として造成中である。

市街化調整区域における農業と工業のバランスある土地利用の実現を目指したものである。政策課題は2点あり、1点目「農地の集約と企業等の農業参入の促進」2点目「既存産業の高度化・戦略的な企業誘致による新選成長産業の集約」である。

このために協議を重ねた点として

- 農用地区域の除外を可とする農業地区域の除外要件の拡大
- 市が行う農地転用の許可不用
- 農地転用の許可権限の委譲

以上について企業立地サイドが政策課題として掲げ「特区制度として」国に申請した。この特区は浜松市だけではなく地域協議会として商工会議所・農業協同組合・浜松土地改良区・地元の金融機関として静岡銀行・遠州信用銀行・日本政策投資銀行・清水銀行との協力体制をとっている。

○国との協議内容について

- 1 新たな規制の特例措置
- 2 財政支援措置
- 3 金融の支援措置

1 の特定措置は「市の土地利用政策に沿った農用地区域の除外」であるが新し工業団地新産業集積エリアの整備事業として約50%の工業団地を市街化調整区域から市街区域へ編入し面整備中

特に市街化調整区域を市街化区域にする線引きの農振除外は関東農政局と協議中である。

2 について立地誘導地区重点エリアの設定

浜松市には高速道路、平成24年度開通の新東名高速道路がある。交通アクセスとして新東名高速道路西インターから11分、東海道新幹線浜松駅から15分、浜松サービスエリアスマートインターから5分、災害に強い工業団地として特に内陸部の強固な土地上に位置している。過去の整備した工業団地を含め80社の企業集積地域であり大規模な工業団地として整備したところである。

浜松市は市街化調整区域における農業と工業のバランスある土地利用を実現し、土地区画整理事業により工業団地を開発・整備し、需要に応じた新たな企業の受け入れを図ることで地域産業の振興と雇用の促進が図られており、ものづくりの町であり森林産業であり、農業が盛んであり農業と工業のバランスある土地利用がなされているところであり、本町と規模の面で大きなかい離があるが縮小しての考え方では、当町の土地利用計画に大いに参考となると思われる。

矢巾町議会会派 [矢巾明進会・町民の会・やまゆり会] 合同視察研修会

平成 28 年 8 月 2 日 (火) ~ 4 日 (木)

テーマ 「岩手医科大学総合移転・平成 35 年度目標人口 30,000 人となる新しいまちづくり」

- 1、子育てしやすい町、の定住・移住の促進 【柴町役場】
- 2、ごみ減量・鳥獣対策事業等について 衆議院議員会館 【環境省】
- 3、国の特区指定を受けた「ゆとりある田園住居区整備促進事業」目的、手法、 【三島市役所】
- 4、市街化調整区域に工業のバランスある土地利用を図るため、総合特区、目的、手法、【浜松市役所】

8月2日(火)

宿泊：ホテルサンルートプラザ新宿 ☎03-3375-3211

7:46 着はやぶさ 8号 10:26 着 11:46 着 14:00~16:00

矢幅駅——盛岡駅——上野駅——成田線安食駅——柴町役場——成田線安食駅——

7:31 発 8:00 発 10:42 発 視察研修 16:26 発

16:56 着 17:34 着 山手線 26分

安孫子駅乗換——上野駅——新宿駅南口——徒歩 3分ホテル 18:10 着

17:02 発

8月3日(水)

宿泊：ホテルエルムリージェンシー ☎055-976-7878

9:30 着 10:00~11:30 昼食

ホテル——丸ノ内線新宿駅——国会議事堂前駅——衆議院議員会館——東京駅

9:00 発 研修 タクシー

こだま 657号 13:46 着 ジャンボタクシー

東京駅——熱海駅——箱根西麓三島野菜——三島市ホテル 18:00 着

12:56 発 14:00 発 産直スカイガーデン

8月4日(木)

9:30~11:30 こだま 651号 13:28 着 14:00~15:20 こだま 662号

ホテル——三島市役所——昼食——三島駅——浜松駅——浜松市役所——浜松駅——

9:00 発 タクシー タクシー 12:24 発 タクシー 研修 タクシー 15:44 発

17:47 着 はやぶさ 31号 20:33 着 20:53 着

東京駅——盛岡駅——矢幅駅——自宅

18:20 発 20:40 発

その他

- 1、研修に際し健康保険証、保険証の写し、保険証番号を控えられますようお願いいたします。
- 2、研修事項については前記の通りですが、各々質問事項を検討し対応願います。
- 3、集合時間及ぶ場所について

8月2日(火) 午前7時15分矢幅駅改札口に集合願います。

- 4、政務活動費から支出することが出来ない経費として個人負担金3万円当日徴収します。

5、研修等担当

- 1) 矢巾明進会 各会派を代表して挨拶及び写真撮影・報告書作成
- 2) 町民の会 個人負担金3万円徴収と精算書及び報告書作成
- 3) やまゆり会 視察研修計画・旅費精算書及び報告書

別紙

調査研究等経費内訳

(会派名 = やまゆり会)

(調査研究費) ・ 研修費 (いずれかを○で囲む)					
交通費	交通機関名	経路	計 算	計	備考
	鉄道 (JR)	上野駅～安食駅 (往復)	71,400 円×3 人	214,200 円	整理番号 1-1 内
	鉄道 (JR)	東京駅～浜松駅 (往復)			
	鉄道 (JR)	盛岡駅～東京駅			
	タクシー	ジャンボタクシー (往復、宿泊料込)			
	鉄道 (JR)	矢幅駅～盛岡駅 (往復)	480 円×3 人	1,440 円	整理番号 1-2
	タクシー	安食駅～栄町役場～ 安食駅		2,630 円	整理番号 1-3
	タクシー	衆議院議員会館～ 東京駅		1,180 円	整理番号 1-4
	タクシー	ホテル～三島市役所～ 三島駅		2,680 円	整理番号 1-5
	タクシー	浜松駅～浜松市役所～ 浜松駅		1,860 円	整理番号 1-6
			円		
宿泊料	宿泊日	宿 泊 先	計 算	計	備考
	8/2	ホテルサンルートプ ラザ新宿	円× 3 人	円	整理番号 1-1 内
	8/3	ホテルエルムリージ エンシー	円× 3 人	円	整理番号 1-1 内
			円× 人	円	
資料代			円× 人 =	円	
			円× 人 =	円	

合 計	223,990 円
-----	-----------

備考 領収書等の写しを添付すること。

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-1

領収書その他の書類の添付欄



領 収 証

ヤマゆり会 殿

No. 033637

平成 28 年 7 月 26 日

¥ 214,200

現金 振込・小切手

内 容	種 目	旅行年月日	行先(又は品名)	内 訳
	旅行代金	H28 8/2 ~ 8/4	静岡 東京	JR券 JRバス代

上記金額正に領収致しました。



〒020-0124 岩手県盛岡市廣川一丁目17-18

株式会社 岩手県北観光

代表取締役社長 三上 金 昭

TEL 019-641-8811 FAX 019-641-8844



- 内訳
- 鉄道：上野駅～安食駅（往復3名分） 6,840円
 - 鉄道：東京駅～浜松駅（往復3名分） 49,230円
 - タクシー：ジャンボタクシー（3名分） 13,410円
 - 取扱料金：取扱料金（3名分） 1,500円
 - 鉄道&宿泊パック：盛岡駅～東京駅（往復3名分） 119,220円
 - 宿泊：8,2 ホテルサンルートプラザ新宿
 - 宿泊：8,3 ホテルエルムリージェンシー（3名分） 24,000円

なきものは無効

確認項目

- あて名欄は、会派名となっているか。
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- 但し書きが具体的な記載となっているか。
- レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日 平成 28年 7月 26日

他会派との按分 (なし) あり

(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)

会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
合計	円	領収書の金額と一致

※ 1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-2 /

領収書その他の書類の添付欄

領 収 証

2016年 7月28日

やまゆり会 様

金 1, 440円

ただし、乗車券類代として、上記金額を受領しました。

印紙税申告納 付につき渋谷 税務署承認済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

JR 矢幅駅～JR 盛岡駅 (往復 3 名分) /

東日本旅客鉄道株式会社
矢幅 801 No.000003



確認項目

- あて名欄は、会派名となっているか。
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- 但し書きが具体的な記載となっているか。
- レシートの場合、上記 2 項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日 平成 28年 7月 28日

他会派との按分 (なし)・あり

(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)

会派名 _____	円	
会派名 _____	円	
会派名 _____	円	
会派名 _____	円	
会派名 _____	円	
合計	円	領収書の金額と一致

※ 1 枚につき、1 支出項目分の領収書等を貼付

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-3 /

領収書その他の書類の添付欄
タクシー代

<p>やまゆり会様</p> <p>領 収 書</p> <p>現・チ・ク・割引 No.1832</p> <p>日付 '16年08月02日 11:59</p> <p>車番 007302 000</p> <p>基本運賃 ¥1270円</p> <p>合計 ¥1270円</p> <p>上記の通り領収致しました</p> <p>毎度ご乗車</p> <p>ありがとうございます</p> <p>北総交通株式会社</p> <p>印西市松崎台1-3-12</p> <p>0476-42-2547</p> <p>JR安食駅～栄町役場</p>	<p>やまゆり会様</p> <p>領 収 書</p> <p>現・チ・ク・割引 No.1983</p> <p>日付 '16年08月02日 16:02</p> <p>車番 007317 000</p> <p>基本運賃 ¥1360円</p> <p>合計 ¥1360円</p> <p>上記の通り領収致しました</p> <p>毎度ご乗車</p> <p>ありがとうございます</p> <p>北総交通株式会社</p> <p>印西市松崎台1-3-12</p> <p>0476-42-2547</p> <p>栄町役場～JR安食駅</p>
---	---

計 2,630円

確認項目

あて名欄は、会派名となっているか。
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)

但し書きが具体的な記載となっているか。

レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。

鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日	平成 28年 8月 2日
他会派との按分 (なし)・あり)	
(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)	
会派名 _____	円 _____
会派名 _____	円 _____
会派名 _____	円 _____
会派名 _____	円 _____
会派名 _____	円 _____
合計	円 _____ 領収書の金額と一致

※1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-4 /

領収書その他の書類の添付欄

タクシー代

やまゆり会
領収書

(現金以外はご利用明細書)


2016年 08月 03日

車両番号: 0509

運賃 ¥1180円

合計 ¥1180円

上記金額正に領収しました
ご利用ありがとうございます

 大和自動車交通江東(株)
☎ 3633-6612

無線配車センター ☎ 3563-5151

衆議院議員会館～JR 東京駅 /

確認項目

- あて名欄は、会派名となっているか。
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- 但し書きが具体的な記載となっているか。
- レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日	平成 28年 8月 3日 /
他会派との按分 (なし)・あり)	
(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)	
会派名 _____	円
会派名 _____	円
会派名 _____	円
会派名 _____	円
会派名 _____	円
合計	円 領収書の金額と一致

※ 1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-5

領収書その他の書類の添付欄

タクシー代

やまゆり会
領収書

No.4969

日付 '16年08月04日
車番 000031 800
基本運賃 ¥1410円
迎車料金 ¥130円
合計 ¥1540円

上記の通り領収致しました
御乗車有難うございました
お忘れ物・お問い合わせは
下記までお電話ください

かんこうタクシー株式会社
フリーダイヤル
0120-75-1866
配車室 954-6000
代表 951-0818
ホテル～三島市役所ノ

やまゆり会
領収書

2016年08月04日

車番 001310 No.9354 800
基本運賃 ¥1010
迎車料金 ¥130
合計金額 ¥1140
決済対象額 ¥1140
決済金額 ¥1140

上記の通り領収致しました
毎度御乗車

ありがとうございます
お忘れ物・お問い合わせは
下記までご連絡下さい

伊豆箱根交通株式会社
三島営業所
静岡県東部地区
共同配車センター
電話

0120-75-0818
三島市役所～JR三島駅ノ

計 2,680円

確認項目

- あて名欄は、会派名となっているか。
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- 但し書きが具体的な記載となっているか。
- レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日	平成 28年 8月 4日	
他会派との按分	(なし)・あり	
(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)		
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
合計	円	領収書の金額と一致

※ 1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-6

領収書その他の書類の添付欄

タクシー代

やまゆり会様

領収書

毎度ご乗車ありがとうございます。

車両番号 295号

2016年08月04日

乗車料金 **¥930円**

上記の通り正に領収致しました。

〒 JR 浜松駅～浜松市役所
ご利用の場合は明細書となります

スタータクシー総合配車センター
053-444-1111

浜松市東区子安町1481
浜松タクシー株式会社

やまゆり会様

領 収 書

No.4903

日付 '16年08月04日 15:29

車番 002551 000

基本運賃 ¥930円

合計 ¥930円

上記の通り領収致しました

次回も遠鉄タクシーのご利用をお待ち申し上げます。

浜松市役所～JR 浜松駅



遠鉄タクシー株式会社

末尾 1…浜松 TEL053-412-7777

4…磐田 TEL0538-32-7777

※車番の末尾数字をご覧下さい。

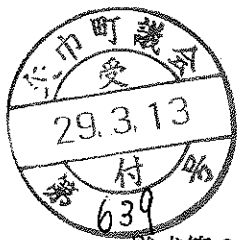
計 1,860円

確認項目

- あて名欄は、会派名となっているか。
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- 但し書きが具体的な記載となっているか。
- レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日	平成 28年 8月 4日	
他会派との按分 (なし)・あり		
(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)		
会派名 _____	円	
会派名 _____	円	
会派名 _____	円	
会派名 _____	円	
会派名 _____	円	
合計	円	領収書の金額と一致

※1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付



様式第8号(第6条関係)

分類番号				
保存期限	1・3・5・10・永			
議長	事務局長	係長	書記	

平成29年3月2日

矢巾町議会議長 廣田光男 様

矢巾町政策研究会「やまゆり会」

代表 藤原由巳

報告者 藤原由巳



調査研究等実施報告書【三木町分】

実施年月日	平成29年2月1日(水)～平成29年2月3日(金)
参加者(3人)	やまゆり会: 藤原由巳 高橋七郎 藤原義一 矢巾明進会: 村松信一、斉藤正範 町民の会 : 高橋安子、水本淳一、廣田清実
目的	① 香川大学と連携した町づくり ② 町づくりへの取り組みについて ③ 「幸福度ナンバーワン」の評価を受けた取り組みについて ④ 自治体間の交流推進について
行先	香川県木田郡三木町 三木町役場ほか
対応者又は主催者	矢巾町政策研究会「やまゆり会」 高橋七郎
概要及び所見	<p>三木町は香川県庁所在地の高松市の南東約12kmの位置にあり、面積約75km²、人口が約28,000人で一般会計総額が約100億円と本町とほぼ同等規模の自治体である回の視察にあたっては事前に当議会広報を送付しており、小職の一般質問で三木町を取り上げたことに感謝の意が示された。尚、筒井町長は県議会議長を経て現在町長2期目として素晴らしい発想で町政を展開していると、挨拶の中で感じられた。</p> <p>①三木町には、香川大学の農学部、医学部をはじめ多くの教育研究施設があり、大学、施設を中心に町民と多くの交流が持たれている。</p> <p>香川大学は、昭和30年に国立移管するまでは県立大学として三木町にあり、移管と同時に私学の香川医科大学を併合した。その後医学部と付属病院が三木町に移転し地域医療の中核を担っている。その中において、四国地方に多い糖尿病対策としての希少糖の木【ズイナ】を発見、廃校を利用して高齢者を交えその地域住民と一体となって培養し生産拡大に努め、「レアシュガースウィート」として好評販売されており、その収益の一部を商品研究費として還元している。</p> <p>②三木町 まち・ひと・しごと創生総合戦略を「三木町まんて願大作戦」と名づけ、50人委員会を「百眼百考会議」と称し、理念を【まちづくりの主役は住民】【行政らしくない行政】【まちづくりは人づくり】掲げ大</p>

学生や町出身者をも交え総合戦略案の策定を進めている。また、ふるさと納税制度にも 28 年度から積極的に取り組み、前年度までの約 700 万円が 28 年度は 7 億円超の見込みとの事で返戻品の効果が大きく、今後は返戻品を含め更なる理解度を高めていくとの事。併せて、大学生等の若者を中心に【ふるさと住民票制度】にも取り組み三木町のファン獲得に向けこの制度の拡充にも努めており、大学内に町としての掲示板を設置し、町の行事や政策を大学生にも PR している。

尚この項については多くの資料による説明もあり充実した意見交換が出来たが、参考とすべきことがあまりにも多く、再度の視察研修も検討したいと感じた。

③平成 27 年 5 月、四国新聞社が初めて実施した香川県内全自治体住民を対象とした「幸福度アンケート」(点数制)にて、三木町が県平均を大幅に上回り、特にも 20 代の幸福度が高く香川県内でトップとなった。今後は香川県ナンバーワンから【日本一幸せな町】を目指して各種施策に取り組む。更には、子育て支援事業も幅広く示され特にも朝 7 時 30 分から夜 9 時までの「まんで願ほたるホーム」も設置されている(全予約制)。

④本町と三木町は面積、人口、予算規模もほぼ同等であるなかで、町づくりにかける取り組み全てが先進的なことが多く、今後更なる視察研修を重ねるべきと考える事から、執行者や担当部署の職員間の交流も必要ではと感じた。また、昨年三木町では職員研修会の講師として花巻市職員でコミュニティアドバイザーの役重眞希子氏(農水省出身・旧東和町職員)を招き地域再生に向けての講義がなされた(本町でも検討しては)。このように岩手県との繋がりもあることから本町としても更なる交流の機会が持てれば幸いと感じた。ちなみに三木町はいちごの生産が盛んで、いちごを原料としてワインを製造する事等を含めて姉妹都市として北海道の七飯町と協定締結(コラボ協定?)しているとの事でした。その中では職員の派遣交流も行っているとの事であり、本町としては姉妹都市を目的にせずとも視察を重ねる事で、新たな町づくり指針が模索できるものと感じました。

経 費

別紙による。

平成29年 2月 20日

矢巾町議会議長 廣田 光男 様

会派名 矢巾町政策研究会「やまゆり会」

代表者名 藤原由巳

報告者氏名 高橋七郎



調査研究等実施報告書

実施年月日	平成29年 2月 3日 ~ 平成29年 2月 3日
参加者(8人)	やまゆり会：藤原由巳、藤原義一、高橋七郎 町民の会：高橋安子、廣田清美、水本淳一 矢巾明進会：村松信一、齊藤正範
目的	小豆島高校野球部甲子園出場に係る行政の支援状況について (小豆島町) 昨年春、21世紀枠として甲子園出場を果たした野球部への、行政及び地域の支援状況、また、島の産業への取り組みについて
行先	香川県小豆島郡、小豆島町内海岸舎
対応者又は主催者	矢巾町政策研究会「やまゆり会」 高橋七郎
概要及び所見	<p>小豆島町概要</p> <p>小豆島町は香川県北部、小豆(しょうず)郡になる町小豆島の東南部を占める、平成18年内海(うちのみ)町、池田町が合併して成立、面積95.63K㎡、人口14,585人(男6,917人、女7,668人、28年12月1日現在)議員定数14人、町域は主として花崗岩からなる山地が海岸に迫り平地に乏しい。</p> <p>池田、草壁、坂手、福田の各港と高松、姫路、阪神とを結ぶフェリーが就航、国道436号が通じる。</p> <p>瀬戸内海、福田地区の採石(大坂城の石垣として使用)、小豆島手延べそうめん、しょう油、つくだ煮、など伝統産業となっている。</p> <p>オリーブの栽培に適し、日本での“オリーブ発祥の地”として知られ、成長産業となり、また、観光面は二十四の瞳映画村、岬の分教場、小豆島オリーブ公園、中山千枚田、寒霞溪(かんかけい)ふるさと村等からなり132万人観光客が来島している。</p> <p>●小豆島高校野球部甲子園出場に係る行政の支援状況について</p> <p>1、町からの支援は競技力向上事業補助金【学校教育課】</p> <p>1) 期間 3月18日~31日(決勝戦まで13泊14日を想定)</p> <p>2) 対象人数20名(ベンチ入り可能人数は登録選手18名、責任教師1名 監督1名、記録員1名)小高の場合は選手17名</p> <p>3) 概算費用</p>

項目	数量	単価	金額	備考
バス運転手	14日	15,000円	210,000円	小高マイクロ
フェリー	1台	11,530円	23,060円	往復
フェリー	20人	1,520円	60,800円	往復
宿泊代	20人	10,000円	2,600,000円	13泊上限額1万円
合計			2,893,860円	
高野連			△913,140円	
差引合計			1,980,720円	≒200万円補正

※高野連からの補助見込み

フェリー：1,520円＋バス：270円＋電車1,240円＝3,030円
(3,030円×2回＋3,000円×14日)＝913,140円

※1回戦で釜石高校に2対1にて敗退のため支出591,820円≒60万円になる

2、応援関係費補助金【学校教育課】

1) 対象人数 高校生約400人（一般は除く）

小豆島高校は、1～3年生全員で300人

土庄高校は、1年生で100人（統合高校で一緒になる学年）

（平成29年4月から小豆島中央高等学校に統合になる）

2) 内容例 ジャンパー1,700円＋その他費用800円＝2,500円

（その他費用は、横断幕等の作成費、カバン、帽子等）

3) 金額 2,500円×400人＝1,000,000円補正

【最終的に町補助金合計は160万円支出する】

町から高校に競技力向上事業補助金として全国大会出場する生徒に1万円を補助している（高校総体、高校駅伝、その他の大会）

○小豆島高等学校野球部甲子園出場実行委員会を小豆島高等学校内に組織する会長は同窓会会長

○実行委員会では早急に募金活動を始めOBや町民にお願いし、寄付金は7,700件1億1千万円集まった。中には1世帯に4人のOBがいる家庭もあり、一口の寄付が多かったようです。大会費用は1回戦で敗退したので5千万円で済、残金6千万円は基金とし検討委員会で利用先を決める予定。

○3月21日の第1試合目に決定したので小豆島高校一般応援団の募集を始め募集人員は1,500名、高校生500名計2,000名 参加費用は大人8,000円 小中学生4,000円（フェリー料金、バス料金、入場券、弁当2食、応援グッズ付）定員500人乗りフェリーを4隻チャーターしバス50台（1校当たり上限50台）

○試合当日、深夜小豆島をフェリー出発し高松港からバス50台に乗車出発時間を調整し高速道路を安全運転に気を付け入場時間を確認しサービスエリアで待機し前の試合時間等チェックした。

○甲子園球場には関西地方のOBや町出身者など多くの応援団6,000人が集まり素晴らしい応援をやった結果、最優秀応援賞頂いた。

○試合当日、地元応援団はパブリックビューイング会館にて200名超える島民が集合し応援する。警察署より島民が応援のため島から出るので空っぽになるので十分な戸締まりするよう指導があった。

	<p>●小豆島町の地場産業について</p> <p>○主要産業はオリーブ、和風麺、つくだ煮、醤油からなりオリーブ産業の売上高が前年比22,7%の成長が続いている。和風麺、つくだ煮、醤油については食生活等の変化により苦戦している。売上高順番は1位 つくだ煮業110,1億円、2位醤油業91,6億円 3位オリーブ業58,1億円 4位和風麺業13,6億円 合計273,4億円となっている。伝統ある地場産業の活性化と継承に向けた取り組みが必要である。</p> <p>所 見</p> <p>四国全県は高校野球の盛んな地域であり、優勝校や強豪校など伝統校が数多く有り、また、野球ファンも多い所です。不来方高校は第89回選抜高等学校野球大会“21世紀枠初出場”全てに経験が無い事から募金活動、応援体制など早急に取り組むを図りたい。冬季のため選手は練習不足と思うので練習試合を多くやり、体力強化とケガの無い事を願うものです。本町は甲子園出場に補助金を予定しているが、部活動によって差があり、全国大会出場生徒一律になるよう規定を定めるよう望む。本県は準優勝をしているけど、早めに優勝出来る事を願うものです。</p> <p>小豆島町には特化した地場産業が有り活性化セミナーや地域振興アドバイザーを設置し新製品開発、首都圏などの大消費地における物産展やイベントに参加しPRを図っている。本町はイベントやPR不足と感じる事から強化を図りたい。</p>
経 費	244,530円 (内訳は別紙のとおり)

調査研究等経費内訳

(会派名 = やまゆり会)

(調査研究費) ・ 研修費 (いずれかを○で囲む)					
交通費	交通機関名	経路	計 算	計	備考
	鉄道 (JR)	矢幅駅～東京駅 (往復)	78,280 円×3 人	234,840 円	整理番号 1-1 内
	タクシー	ジャンボタクシー			
	タクシー	ジャンボタクシー			
	モノレール	浜松町～羽田 (往復)			
	AIR	羽田空港～高松空港 (往復、宿泊料込)			
	高速艇	高松港～土庄港 (往復)	2,230 円×3 人	6,690 円	整理番号 1-2
タクシー	高松港～高松空港		3,000 円	整理番号 1-3	
			円		
			円		
			円		
宿泊料	宿泊日	宿 泊 先	計 算	計	備考
	2/1	高松東急 REI ホテル	円× 3 人	円	整理番号 1-1 内
	2/2	オーキドホテル	円× 3 人	円	整理番号 1-1 内
			円× 人	円	
資料代			円× 人 =	円	
			円× 人 =	円	

合 計	244,530 円
-----	-----------

備考 領収書等の写しを添付すること。

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-1

領収書その他の書類の添付欄



領 収 証

やまゆり会 殿

No. 034589

平成 29年 1月 27日

¥ 234,840

(現金・振込・小切手)

内 容	種 目	旅行年月日	行先(又は品名)	内 訳
	旅行代金	H29 2/1~2/3	四国	矢野町議会合同視察研修会

上記金額正に領収致しました。



〒020-0124 岩手県盛岡市厨川一丁目17-18

株式会社 岩手県北観光

代表取締役社長 三上金昭

内訳 TEL 019-641-8811 FAX 019-641-8844



- 鉄道：矢野駅～東京駅 (往復3名分) 90,000円
- ジャンボタクシー：2/1～2/2 (3名分) 22,500円 高松空港～高松市内～三木町役場
- ジャンボタクシー：2/3 (3名分) 8,400円 土庄港～小豆島町役場～土庄港
- モノレール：浜松町～羽田 (往復3名分) 2,940円
- AIR&ホテルパック：羽田空港～高松空港 (往復3名分) 91,125円
- 宿泊：2/1 高松東急REIホテル
- 宿泊：2/2 オーキドホテル (3名分) 19,875円

確認項目

- あて名欄は、会派名となっているか。
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- 但し書きが具体的な記載となっているか。
- レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日 平成 29年 1月 27日

他会派との按分 (なし)・あり

(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)

会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
合計	円	領収書の金額と一致

※1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-2

領収書その他の書類の添付欄

B No 05576

領 収 証

やまゆり会殿

収入
印紙

¥ 4 6 6 9 0

但し 往復券3枚 (No. 7528~7530)
高松港~土庄港

平成 29 年 2 月 2 日

上記金額正に領収致しました

小豆島フェリー株式会社

本社: 高松市玉藻町10番32号 TEL: 087(851)8171 FAX: 087(851)7520
 高松フェリー乗船所/高松 平土 高松 TEL: 087(822)4383
 高松高速乗船所/高松 平土 高松 TEL: 087(821)9436
 土庄乗船所/香川県小豆郡土庄町渡島 TEL: 0879(62)0875
 備前乗船所/香川県小豆郡備前町 TEL: 0879(84)2220
 東舞子乗船所/徳島県海部郡須加 TEL: 0879(234)7100

高松港
292-2
高松港

受領者	
現金	

確認項目

- あて名欄は、会派名となっているか。
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- 但し書きが具体的な記載となっているか。
- レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日	平成 29 年 2 月 2 日	
他会派との按分 (なし)・あり		
(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)		
会派名 _____	円	
会派名 _____	円	
会派名 _____	円	
会派名 _____	円	
会派名 _____	円	
合計	円	領収書の金額と一致

※ 1 枚につき、1 支出項目分の領収書等を貼付

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-3

領収書その他の書類の添付欄

領 収 証

No.

やまゆり会 殿

平成 29年 2月 3日

金額 ¥ 3,000円

上記の金額正に領収致しました

但し(.月 .日分) 高松港~高松空港

収 入

印 紙



株式会社 常磐タクシー

本社 高松市上之町1-7-10 TEL 087-867-6010
バス部 高松市上之町1-7-10 TEL 087-867-9555

FAX 087-867-9550

本証に取扱者印のない場合は無効

取扱者印



確認項目

- あて名欄は、会派名となっているか。
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- 但し書きが具体的な記載となっているか。
- レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日 平成 29年 2月 3日

他会派との按分 (なし)・あり)

(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)

会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
合計	円	領収書の金額と一致

※ 1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付